



津島小学校

双葉郡浪江町大字下津島字宮平 109



地域とのつながりを 大切にする校風

津島小学校は、1983（昭和58）年に津島小学校・津島第二小学校が統合されてできた学校です。校舎はその翌年に建築されました。豊かな自然に恵まれ、地域住民とのつながりを大事にしてきました。学校緑化に努め、2001（平成13）年度にはみどりの少年団を発足。「花いっぱいコンクール」では2005（平成17）年度と2008（平成20）年度の2度にわたり、県より表彰を受けています。さらに家庭や地域とのつながりを象徴するように、1995（平成7）年度には県PTAの団体表彰を受賞。2004（平成16）年度からは地区民による体育祭「津島ふれあい体育祭」を実施。これは全区民参加による、笑顔と歓声にあふれた最高の体育祭でした。

校 歌

作詞/今野 寿男 作曲/天野 秀延

- 朝もや晴れる 天王の
山のみどりの 日に映えて
希望あふれる 津島校
歌えよみんな ほがらかに
学びの窓に 喜びを
- さざなみ光る 津島川
もえる五山の 若松は
すくすく強く のびていく
励め今こそ 新しい
文化の花を 咲かそうよ
- 思いははるか 太平洋
かおる歴史の 夢うたう
堤ヶ入の わが母校
とべよ若鷹 風きって
理想の空を 一すじに

沿革

明治 8年	津島字西館 18 番地の如意輪寺に野川小学校の分校として開設	昭和61年 11月	交通功労団体表彰
9 年 2月	野川小より分離、津島小を開設（津島字西館 10 番地）	62年 1月	校門、校標記念碑完成
25年 3月	昼曽根分校認可	62年 8月	校庭フェンス、体育用砂場設置
31年 3月	高等科併設、津島村尋常高等小学校と改称	平成元年 3月	相撲土俵完成
昭和16年 4月	国民学校令施行により津島村国民学校と改称	2 年 4月	バックネット設置
22年 4月	6・3 制実施により津島村立津島小学校と改称	4 年 3月	飼育小屋設置、ツツジ定植
22年 6月	手七郎分校認可開設	4 年 8月	学校前坂道舗装工事
23年 1月	赤宇木分校認可開設	6 年 8月	学校前坂道舗装第 2 期工事
25年 6月	羽附分校認可開設	7 年 9月	県 PTA 団体表彰受賞
27年 4月	赤宇木分校が津島第二小として分離独立（昼曽根分校も津島第二小所属）	13年 2月	みどりの少年団発足
31年 5月	津島村が浪江町に合併、浪江町立津島小学校と改称	14年 1月	県書写展学校賞受賞
31年 11月	現在地に新校舎竣工	14年 10月	第 18 回 県へき地小規模学校教育研究大会双葉大会研究公開
33年 3月	新校舎第 2 期竣工	15年 10月	階段手すり取り付け
34年 11月	管理棟竣工	16年 9月	保育所・小学校・中学校・地区合同による津島ふれあい体育祭開催
38年 4月	校歌・校旗完成	17年 5月	「子ども見守り隊」発足（津島地区老人クラブ）
39年 11月	給食室工事完了	17年 12月	花いっぱいコンクール県教育長賞受賞
40年 3月	羽附分校閉鎖、本校へ統合	18年 6月	学校環境緑化モデル事業完成式典
43年 7月	体育館竣工	20年 11月	花いっぱいコンクール優秀賞受賞
48年 10月	津島地区学校給食共同調理場開設	23年 3月	東日本大震災および原発事故のため臨時休業
49年 3月	手七郎分校閉鎖、本校へ統合	26年 4月	津島小学校再開、浪江小との合同授業開始
50年 3月	創立 100 周年祭並びに記念事業	26年 10月	ESD 日本の優良事例 30 に「ふるさとなみえ科」の実践が紹介
52年 11月	校舎西側砂防工事完了	27年 12月	「なみえっ子カルタ」町長への贈呈式
54年 3月	昼曽根分校閉鎖	28年 10月	教育奨励賞努力賞受賞（時事通信社）
55年 9月	玄関、校長室の拡張、トランペット鼓笛隊編成、山村教育県大会実施	29年 3月	「んだげんちょ DVD」町長への贈呈式
56年 9月	東北 PTA 大会で受賞	29年 9月	「かなえよう子どもたちの夢プロジェクト GO!GO!GO!」学校賞受賞
58年 4月	津島小・津島二小が名目統合	29年 12月	第 5 回全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール全国大会出場
59年 3月	新校舎完成	30年 10月	「んだげんちょ NEW バージョン」制作
59年 4月	新校舎移転、実質統合 校章の改訂	令和元年 2月	浪江と多摩をつなぐ交流のつどい参加
60年 3月	体育館竣工	3 年 2月	「10 年間ふるさとなみえ博物館」完成・披露式
60年 7月	プール完成	3 年 3月	「10 年間ふるさとなみえ大事典」制作、休校
61年 2月	校章制定、落成記念式典挙行、校旗設置		
61年 4月	校庭拡張整理完了、体育用具室完成、校庭拡張整理完了		

「ふるさと追想」

浪江のこころ通信

令和 2 年広報なみえ
5 月号より抜粋



津島はかけがえのない故郷

今野 義雄さん（津島出身・群馬県在住）

津島小から津島中に進み、東京で就職した後に群馬県に移住。過疎地の医療確保や医療不足に取り組んできました。震災前の津島には「診療所を守る会」があり、医師確保などに努力していましたが、津島への想いが群馬県での私の活動の原点です。“津島の獅子舞”や“田植踊り”を懐かしく思いますし、変わらぬ山や川、何よりも空気が違う津島に帰るといつもほっとしていました。「ふるさと津島を映像で残す会」のドローン映像の完成が楽しみです。なくなってしまうかもしれない故郷の姿を孫や次世代に伝えたいです。避難指示解除されても戻る人が少ないのは残念ですが、迷っている町民や子どもたちが安心して帰れる状況を早く作ってほしいものです。

震災前の学校の風景



鼓笛パレード



学習発表会



1年生 紙芝居 (2006年)



旧校舎



現在の校舎



豊かな体験活動



農園

震災直後の記録とその後

発災後、全校児童が校庭に集合しました。余震が続く中、校歌などを歌い、気持ちを落ち着かせ励まし合いながらつらい時間を耐えていました。翌日、原発事故の発生を受け、浪江町民は津島方面に避難するよう指示が出ました。最大で1,200人を超える町民が学校に避難してきました。15日に避難命令が出され、全員が津島小学校を後にしました。4月からは全児童が避難先の学校に通うこととなりました。2014（平成26）年度から二本松市下川崎の旧下川崎小学校をお借りし、浪江小学校との連携により学校再開を果たしました。ここで少人数ながら、きめ細かな指導が行われました。総合的な学習は「ふるさとなみえ科」と称し、今までの浪江町の素晴らしいところ、浪江町の今後の復興について深く学びを進めました。



教室の様子（震災後）

津島小学校休校式

2021（令和3）年3月23日

避難先の二本松市に仮校舎を置く津島小学校は、2020（令和2）年度の卒業で在籍児童数がゼロとなるため休校となりました。津島小学校は1876（明治9）年2月に開校し、1983（昭和58）年度に津島第二小学校と統合、明治9年からの総計で数えると4,383人の卒業生を送り出した地域の小学校でした。最後の在校生となった須藤嘉人さん（12）が教職員や地域住民に「一人だけの学校生活だけど、少しもさみしくなかった」と感謝の言葉を伝えました。



「10年間ふるさとなみえ博物館」を開設

2021（令和3）年2月、二本松市に拠点を移していた津島小の唯一の在校生、須藤嘉人さんが、浪江町と二本松市の伝統文化を伝える博物館を開設しました。同博物館は、二本松市の浪江小と津島小の、「ふるさとなみえ科」の10年間の歴史を伝えるためのもので、特に「なみえっ子カルタ」は浪江町の風景や文化が描かれています。震災で避難して、ふるさとを失って悲しんでいる人を喜ばせ、元気づけたいという児童の思いがあふれており、町教育委員会では、これらの展示物の保存について「できる限り大切に扱いたい」と考えています。



浪江焼麺太国太王衣装



「カルタ」「大堀相馬焼」など
浪江町の風景や文化を展示



「なみえっ子カルタ」の展示



二本松市の祭り・特産物も交えた展示物